

広報 こじょうめ

発行 五城目町役場 ☎0188 62 2100 代
秋田県五城目町上樋口字向川原
☎018-17 12ブロック2ロット
編集 文書広報課
印刷 潮東印刷所 ☎0188 62 2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



満開の桜の下で

桜と花見

今年は、昨年より一週間は桜の開花が早かったようです。

桜の委節になると、わたしたちは、お花見をします。桜は花が咲いてから葉が出てくるので、開花期になると木全体が桃色に染まり、花が多い年は見事なものです。

また、散るのが早く、その深（いさぎよ）さと憐れさが、日本人の心情に同調するの、春といえば桜と答える人が多いようです。実際、桜は日本を代表する国花になっています。

日本に野生で自生する原種はヤマザクラ、サトザクラ、オシマザクラ、エドヒガンザクラなど、十品種。しかし、さまざまな変種や作り出された園芸品種を含めると、ざっと二百五十種にも達するそうです。

現在では、桜と言えばソメイヨシノが主流ですが、これは吉野山とは関係なく、伊豆七島に自生し樹勢の強いオシマザクラと、大木となり寿命が長いエドヒガンザクラとの雑種となっています。

お花見は、平安貴族が歌を詠（よ）む対象として桜を観賞したことが始まりと言われています。しかし、奈良時代から平安時代の初めまでは、花といえば梅のことだったようで、万葉集では梅の花を詠んだ歌が桜の花より多くあります。

お花見が、一般の人たちのレクリエーションとなったのは、江戸時代の元禄のころです。落語では、八つあんと熊さんなど長屋の連中が、お茶とタクアンでお花見をする情景が、おもしろく扱われています。

（広報紙中にある写真を欲しい方には）
お上げします

知事選挙・県議会議員選挙

前回とほぼ同じ投票率

四月十日行われた知事選挙と県議会議員選挙の町の投票率は、知事選が八七・九八割、県議選が八七・九八割で、前回の八七・九三割とはほぼ同じ投票結果となりました。

男女別に見ますと、男八七・五〇割、女八八・四二割（県議選八八・四一割）となっており、前回と同様に女の方が上回っています。

町の有権者数は一万二千七百七人で、棄権者は千四百五十四人（県議選千四百五十五人）でした。

県全体の投票率は、知事選、県議選ともに八二・三〇割、南秋田郡内では知事選八四・九九割、県

議選八四・九八割となっており、町の投票率は、井川町、飯田川町に次ぐ高い数字でした。

町の開票は、当日の午後七時から役場正庁で行われ、知事選では現職の佐々木喜久治氏が町内から八千五百八十九票を集め、全県においても圧倒的な支持を得て再選されました。

県議選には、町内から現職の館岡勲氏と新人の伊藤万治郎氏が立候補していました。館岡氏は町内から四千五百票あまりを獲得し、三位で再選を果たしましたが、伊藤氏は次点となりました。



役場正庁で行われた開票

▷ 町内の地区別投票率

	有権者(人)	投票者(人)	投票率(%)
五 城 目	5,503	4,799	87.21
馬 場 目	1,670	1,476 (1,475)	88.38 (88.32)
富 津 内	1,659	1,466	88.37
内 川	1,001	906	90.51
大 川	1,475	1,296	87.86
森 山	799	710	88.86
計	12,107	10,653 (10,652)	87.99 (87.98)

※ () 内は県議選と知事選投票率が違う場合の県議選投票率

▷ 南秋の町村別投票率(%)

	知 事 選	県 議 選
五 城 目 町	87.99	87.98
昭 和 町	83.37	83.37
八 郎 湯 町	84.79	84.78
飯 田 川 町	88.68	88.68
天 王 町	79.00	79.00
若 美 町	86.61	86.61
井 川 町	89.77	89.77
大 湯 村	86.11	85.97

▷ 五城目町の開票結果

知 事 選	佐々木 喜久治	8,589
	高 橋 清 人	1,510
	(有効投票)	10,099
県 議 選	館 岡 勲	4,526
	伊 藤 万治郎	2,843
	児 玉 孝	2,373
	二 田 孝 治	528
	おくい 淳 二	170
	(有効投票)	10,440

五城目筆筒の
草創と変遷

石 井 金 之 助
(31)

五城目筆筒の年譜 (10)

一九六七 昭和四十二 三月、秋田県優良家具展秋田管林局長賞 和田広治。

一九六八 昭和四十三 三月、秋田県優良家具展知事賞 五城目木工有限会社。同知事賞 和田喜次。同秋田県木工連会長賞 高桑勝蔵。

五月、保証責任五城目たんす協同組合第十五回通常総会開催、役員改選。理事長石井金之助、専務理事斎藤金八、会計理事長谷川豊、理事渡辺真一、理事藤原順一郎、同斎藤真作、同高桑勝蔵、監事石井金次郎、同京野鉄五郎。

一九六九 昭和四十四 三月、秋田県優良家具展知事賞 五城目木工有限会社。同全国家工連会長賞 和田喜次。三月、全日本優良家具展内閣総理大臣賞 五城目木工有限会社。

一九七〇 昭和四十五 二月、秋田県優良家具展秋田県木工連会長賞 石井力蔵。同秋田県家具建具会長賞 伊藤忠次。

二月、秋田県優良家具展秋田県家具移出協会賞 五城目木工有限会社。

五月、保証責任五城目たんす協同組合第十七回通常総会開催、役員改選。理事長石井金之助、専務理事斎藤金八、会計理事長谷川豊、理事渡辺真一、同藤原順一郎、同斎藤真作、同京野鉄五郎、監事石井金次郎、同渡辺常雄。十一月、秋田県知事より優良技能者として表彰 石井金之助。

一九七一 昭和四十六 二月、秋田県優良家具展河北新報社賞 石井力蔵。同AKT会長賞 伊藤忠次。同秋田県家具建具協組会長賞 五城目木工有限会社。十一月、原労働大臣より卓越技能者として表彰 石井金之助。

一九七二 昭和四十七 三月、秋田県優良家具展毎日新聞社賞 伊藤忠次。同ABS社長賞 和田喜次。同県家具建具商工業協組理事長賞 斎藤家具店。同県家具展会長賞 五城目木工有限会社。同石井力蔵、同木工興真、同渡辺常雄。

町議会三月定例会

町長の施政説明から

町政運営の基本は総合開発計画の線に沿って進めることにあり、これまで、議会のみな様方をはじめ、全町民のご理解とご協力のもと、その目標達成のため渾身の努力を傾注して参りました。町づくりも庁舎建設を含めた開発計画の中心施策が概ねできあがり、行政推進の基盤が目に見えて充実されてまいりました。生活環境施設、産業基盤など、社会資本の整備がなされました。

しかし、国の財政を見ますと、経済不況から巨額の歳入不足をきたし、国に依存するところの大きい地方財政は極めて厳しい状況におかれています。交付税の減額はもとより、各種補助金の削減、合理化等、地方財政運営に大きな影響をおよぼす結果となり、一部計画の変更をせざるを得ない事態にたまたった次第です。限られた財源の中で、これをいかに活用してゆか、また、これまでの諸施設、諸施設をいかに有効に活用し、より活気あふれる町にしてゆか、議会のみな様とともに、懸命に努力してまいりたいと存じます。

本町の総合開発計画は、昭和六十年年度を目途に、四十五年二月に策定し、以来、第二次、第三次とローリングし、五十八年度までの行政財政策施行の基本として今日に至っております。昭和五十九年度から始まる新しい計画の策定に当たっては、本町のあるべき未来像、二十一世紀を目ざした町づくりをどのようにとらえるかについて、広く町民の声、意向を反映すべく去る二月十五日に、五城目町長期総合発展計画策定審議会を発足したところと存じます。

本家の策定過程においては、
①町民参加を積極的に取り入れる
②議会との連係に充分配慮する
③国、県の上位計画との整合性を確保する
④本町の特性をいかに生かすかなどを大きな課題として、田園都市構想の展望を具体化してまいりたいと考えております。

生活環境の整備については、長期間の願望でありました「ごみ処理場」の建設を、去る二月八日、厚生省との協議で、五十七、五十八年度の二カ年継続事業として、正式に認可をいただき、また、先の町議会臨時会において、みな様方の議決をいただいた次第です。

これもひとえに、議会のみな様の深いご理解、ご協力と地域住民のご協力の賜（たまもの）であること、心から感謝申し上げる次第です。

設備の内容としては、一日、二十五トンのごみを処理するものであり、この建設によって、これまでの「ごみ」によるいろいろな公害等の問題も解決できるものと信じております。

情操教育の一環として、七月下旬に京都大学交響楽団一行九十名の演奏会を計画しております。これは、生の演奏を聴く機会が少ない本町として、町内の児童・生徒はもとろん、町民のみな様も音楽に親しむ絶好の機会であると存じます。

と思います。

また、みな様すでにご承知のとおり、昭和五十九年度全国高等学校総合体育大会が、秋田県で開催されることになっており、本町では、五十九年八月一日から八月四日までの日程で、レスリング競技の開催が決定になっております。

この実施に必要なすべての準備を行ない、かつ大会の総括的運営にあたるため、新年度より、五城目町実行委員会を設置したいと存じ、五十八万円を計上させていたできました。

産業振興について申し上げます。農業についてであります。農業をめぐる厳しい情勢の中で、

限られた財源の中でより活気あふれる町に

より活気あふれる町に

本町の五十七年水稲作況は、関係機関の適切な指導と農家の努力、さらには、出穂期以降の天候に恵まれ作況指数一〇四・四、反当収量五七・七と、平年反収を二四・四上回る豊作となりました。不況ムードの中で、一つの光明を見いだした感じがいたします。

しかし、農業経営の実態は、依然として厳しく、豊作による増収分は、一昨年の冷害被害による負債整理等に、そのほとんどが振り向けられるものと思われ、さらには、農具費を筆頭に、生産費の上昇は大きく、いささかの米価引上げでは補いきれない状況にあります。

こうした実態を改善し、農家経済の安定向上を図るため、五十七年度から実施しております「低コスト型高位安定稲作り運動」を、

農家総参加の運動として強力に推進したいと思っております。栽培技術の指導とともに、経営面についても採算を重視し、企業感覚を持てるよう積極的な指導を関係機関の協力を得ながら実施してまいり所存であります。

次に水田利用再編対策についてであります。第二期対策の最終年である五十八年度の本町の転作目標面積は、二六一・一で前年度より一九・九軽減されております。また、米の限度数量は、十二万四千二百二十八俵と、前年度より四万二千九百五十三俵加算配分されております。

この対策、および配分については去る一月二十六日開催の水田利用再編対策協議会の方針に基づいて

て、三月七日の農業班長会議において、各農家に仮配分した次第です。

転作の推進にあたっては、奨励補助金に依存した緊急避難的な転作を続けている農家もまだ多くあり、五十九年度から始まる第三期対策に、適切に対応するためにも、これまで以上に努力する必要がありますと存じます。

次に、商工関係についてであります。景気低迷の影響をまともに受けております商工関係につきましては、常々頭を悩まし、種々その対策にあたっております。しかし、町がとり得る対策には限界があり、結局は関係者の努力に期待するしかないわけであり、

このような中であって、経営者はもちろん、そこに働く従業員も一丸となって経営の発展に打ち込む意欲を醸成するため、新年度から新たに、優良従業員表彰制度を設けることにしました。

このことにつきましては、以前からみな様に検討をお約束していたところでありますが、商工会から受託された方々の中から、特に優秀な方を町表彰式典の席上において、表彰しようとするものであります。

また、「九五」資金の利用につきましては、信用保証協会の保証が必要であり、この保証料は〇・九割です。このうち、半分は町が補給し、残り〇・四割は利用者が負担しております。また、「九五」資金をさらに利用しやすくするため、新年度から保証料を全額町で負担するよう予算計上しました。

また、バス路線三倉鼻線の廃止についてご報告申し上げます。

この三倉鼻線は、昭和四十年五月新設された路線で、当時、五城目駅前から川崎を経由一日市に入り、三倉鼻に至る町民の生活路線として利用を図られておりました。その後、大川地域に農免道路が整備されたことに伴い、この農免道路を経由していただくよう中央道路へ申請したところ、昭和四十八年十二月からバス路線として運行され今日に至っております。

しかし、マイカーの普及など、沿線地域の交通生活態様が変化し、現在は利用客が希薄となり、時間によつては、全く皆無となつておる実情です。この運行に要する負債は年々加算されていきました。国、県の補助金も五十七年度限り廃止されることに決定されたため、五十八年四月から、当該路線は廃止されることになった次第です。

なお、この廃止については、去る二月五日に関係地域の代表者のご参集をお願いしまして説明会を開いております。

その折に、秋田・能代線の急行バスについて、国道七号線の下樋口付近に停留所の設置方についてご要望がございましたので、その旨を中央文通の方へ強く要請しておることを申し上げます。

の用地について、新、旧交換することと県と協議を重ねてまいりましたところ、交換差額として、県より五城目町へ支払う額が五千八百万円として合意を見た次第であります。

町ではこれを受けまして、五城目町開発公社から先行取得をしていただいて、今後計画的に優良宅地として造成し、広く需要を募るか、あるいは他にさらによりよい方途を見い出して、人口流出の歯止め対策に資したいと考えております。

また、バス路線三倉鼻線の廃止についてご報告申し上げます。

この三倉鼻線は、昭和四十年五月新設された路線で、当時、五城目駅前から川崎を経由一日市に入り、三倉鼻に至る町民の生活路線として利用を図られておりました。その後、大川地域に農免道路が整備されたことに伴い、この農免道路を経由していただくよう中央道路へ申請したところ、昭和四十八年十二月からバス路線として運行され今日に至っております。

しかし、マイカーの普及など、沿線地域の交通生活態様が変化し、現在は利用客が希薄となり、時間によつては、全く皆無となつておる実情です。この運行に要する負債は年々加算されていきました。国、県の補助金も五十七年度限り廃止されることに決定されたため、五十八年四月から、当該路線は廃止されることになった次第です。

なお、この廃止については、去る二月五日に関係地域の代表者のご参集をお願いしまして説明会を開いております。

その折に、秋田・能代線の急行バスについて、国道七号線の下樋口付近に停留所の設置方についてご要望がございましたので、その旨を中央文通の方へ強く要請しておることを申し上げます。



製造が手作業であることも伝統的工芸品指定の条件

「おけ」「たる」を 秋田杉の伝統的工芸品に

江戸時代の作品を探しています

五城目町おけ・たる協同組合（理事長・石井松三郎）では、秋田杉を原料とする「おけ」や「たる」が、国の伝統的工芸品の指定を受けるため、その指定基準となる江戸時代に作られた「おけ」や「たる」を探しています。

秋田杉で作られた古い「おけ」や「たる」を所持している人は、石井松三郎さん（新畑町52-3400）が役場商工観光課（52-2100）に連絡してください。現在、五城目町おけ・たる協同

組合では、能代市と大館市の同業組合などと、秋田杉おけ・たる伝統的工芸品指定促進協議会を設立して、指定を受けるための活動を行っています。

指定の基準には、「主として日常生活の用に供されるもの」「製造工程の主要部分が手工業的であること」「伝統的な技術または技法により製造されるもの」などが定められており、伝統的であるためには、百年以上の歴史を有しなければなりません。それで、江戸

時代に作られた「おけ」や「たる」あるいは、それらに関する古文書、おけ・たる業者の江戸時代からの系譜などが、証拠資料となります。おけ・たる業はプラスチック製品などにおされて、技術技法の継承、後継者の育成・確保、原材料の確保など、いろいろな問題をかかえています。同組合では、国の伝統的工芸品の指定を受けることにより、地場産業としての地位向上を目指しています。

現在、秋田県内において、国の伝統的工芸品に指定されているのは、角館町の榎細工、稲川町の川連漆、大館市の曲物の三点です。

硬式テニスクラブ結成

町内の硬式テニスの愛好者たちが中心になり、五城目硬式テニスクラブを結成しました。

クラブには、だれでも入会できますし、初心者には基本から教えてもらえます。練習は、毎週日曜日の午前八時から正午まで、五城目営林署横のテニスコートで行われます。

入会を希望する人は、事務局（52-4246 工藤洋一）へ申し込んでください。

役員は次のとおりです。

会長 八木下広安
幹事 工藤 洋一
運営 佐々木正三

自衛官募集相談員

町の自衛官募集相談員は次の人たちです。

千田 峯夫（岡本）
加藤 勘一（大川）
椎名 仁市（富田）

カメラリポート

第一回専門部会を開く

長期総合発展計画策定審議会

長期総合発展計画策定のための第一回専門部会が、4月13日、役場会議室で開かれました。出席者は、老人クラブ、青年会、婦人会、若妻会の代表21人。

また、第二回専門部会は、4月23日に開かれ、体育指導委員、体協の理事、公民館分館の主事19人が出席しました。この専門部会は、この後6回開かれる予定です。



あいさつを述べる審議会の佐藤祐治会長（中央）



棟飾りとして取り付けられたしちほこ。

資料館に しちほこ。

高さ約1m20の銅板製

4月11日、前平山に建設中の森林資料館に金のしちほこが取り付けられました。

このしちほこは、資料館が城の形をしていることから、その棟飾りとして取り付けられたもので、高さ約1m20の銅板製で金ばくがはられています。資料館の正面から見ると、右側がオスで口をあけています。5月15日の夜には、城を照明で浮きあがらせる計画です。

水道料金の集金

昭和58年度の水道料金の集金員、集金日、集金担当地区は、次のとおりです。

58年度上水道料金集金員、集金日および担当地区

集 金 員	集金日	集 金 地 区
工 藤 三 郎 (雀 館) 電話 3483	7.8日	大川1区～4区
	9日	下樋口・曙町・石崎・四ツ屋
	10日	西 野・谷地中
	16日	希望ヶ丘・広ヶ野・新里町
	17日	田 町
谷 地 三知子 (紀久栄町) 電話 3059	18日	上田町・今 町
	20.21日	昭辰町・雀 館
	10日	樋 口・中川原
	13日	高 崎
	14日	久 保・館越・東蔵ノ目
嶋 崎 アエ (館 町) 電話 4975	16日	小池町・川原町
	18日	古川町
	19日	紀久栄町・長 町
	18日	上樋口・岩城町
	19日	館 町
鎌 田 アイ子 (築地町) 電話 3055	22日	一番町・新 町
	23日	新畑町・西蔵ノ目
	24日	仲 町
	14日	矢場崎
	17日	御蔵町
椎 名 初子 (富 田) 電話 2241	18日	米沢町
	19日	築地町
	22.23日	畑 町
	23日	富 田
	26日	山 内
小 玉 則子 (岡 本) 電話 4472	26.27日	岡 本

和牛導入農家に援助

利息を国と町が負担

町では稲作プラス和牛等の複合経営を奨励しています。経営規模拡大と水田利用再編対策における転作飼料作物の有効利用を図り、大家畜の資源確保、計画的導入を目的として、繁殖和牛を導入する農家に対して、利子補給などの援助をします。

和牛導入の申し込みは五月三十一日までに農協および役場へ

昭和五十八年度の繁殖和牛の導入計画は二十頭となっています。導入を希望する農家は五月三十一日まで農業協同組合、または役場農政課に申し込んでください。

和牛を導入する場合、援助を受けることができる条件、導入方法、和牛の管理は次のとおりです。そ

① 稲作農家の複合経営として、繁殖和牛の増頭計画をもって、三～四年後におおむね五頭以上飼養が可能なもの。

② 五城目町和牛組合に加入し、和牛飼養農家と連帯して本町の畜産振興に努めるもの。

③ 導入した牛は秋田県畜産開発公社が農家に五年間貸付けし(限

① 導入を希望する農家は、家畜導入申請書および経営計画書を農協組合長に提出しなければなりません。

② 和牛を導入する場合は、役場または農協と連絡をとりながら経済連の指定する家畜市場で購入します。

③ 導入した牛は秋田県畜産開発公社が農家に五年間貸付けし(限



他の不明な点については、役場農政課におたずねください。

援助を受けることができる条件

① 稲作農家の複合経営として、繁殖和牛の増頭計画をもって、三～四年後におおむね五頭以上飼養が可能なもの。

② 五城目町和牛組合に加入し、和牛飼養農家と連帯して本町の畜産振興に努めるもの。

③ 導入した牛は、家畜共済に加入しなければなりません。

① 元金返済までは本人の牛でないで、その間の事故、病気などに對する牛の措置については、町および農協、農業共済組合に相談する必要があります。

② 導入した牛は、家畜共済に加入しなければなりません。

度額三十三万円)、六年目に農家は元金を公社に返済します。その間の利子は、国と町が支払います。

カ メ ラ リ ポ ー ト

実行委員会を結成

全国高校総体の準備と運営

昭和59年度全国高等学校総合体育大会五城目町実行委員会の結成総会が、4月20日、町民センターで開かれました。この委員会は、来年の7月31日から始まる全国高校総体で当町がレスリング会場となるため、その開催準備と総括的な運営を行うものです。事務局は教育委員会におかれ、会長は加賀谷町長、役員170人。



加賀谷町長を議長に行われた結成総会



町民センター前から森山号に乗る先生たち

赴任された先生の交流会

森山号で町内めぐり

町では、4月16日、今年度から町内の学校で教鞭(べん)をとることになった先生たちを招待して、交流会を開きました。この交流会は、新任、転入の先生たちの親睦を図るとともに、町の姿を知ってもらおうというもので、福祉バス森山号で町内めぐりが行われました。参加した先生たちは、小中学校、高等学校あわせて19人。

お母さんのための
中学生のしつけ方12章



第 9 章
読書好きの子にするには

▽読書は集中力を養います
ものごとを深く考えないのは、マンガやテレビの影響とされています。それを改めるのが読書です。読書は単に知識を広めるだけでなく、人間を思慮深くさせ、想像力を高め、精神の集中力を深めます。特に、この期間中に読書から受けた感銘は、それから後の人生に影響するとまで言われます。

▽雰囲気をつくりましょう
テレビやマンガ本から離れないのは、家庭内に、読書の雰囲気づくりがないからでしょう。家族みんなが、読書の習慣をつけ、読書の時間帯を持つことです。一方が読書しているのに、一方がテレビで野球のナイターでは、その気になりません。
▽おもしろくないのは必要ないからです
本にすぐ飽きるのはその本がその子供に適していないからです。「その本がおもしろくないのは、君にとってその本は必要ないからだ」という言葉があります。子供がいま関心を持っていることに関係ある本を探しましょう。

伝言板

日本赤十字社
社員・社費増強運動

日本赤十字社は、毎年五月一日から三十一日までの一ヶ月間、全国一斉に「赤十字運動強調月間」を展開しております。
この運動の目的は、国の内外にわたる各種事業が円滑に実施できるよう、赤十字社員増強運動と事業資金募集、そして赤十字思想の普及をはかり町内のみならず赤十字をご理解していただくものです。

出して赤十字事業にご協力いただく方々によって支えられております。
県支部では社員一人当りの社費を五百円以上としておりますが、本町では社員一人当たり四百五十円を目標に進めております。また、千円以上の方々は、特別社員として取り扱いをいたしております。

五城目町日赤分區

移動窓口の設置

赤十字は自分の余暇や努力、または能力を社会のために奉仕してくださるみなさんや、赤十字社員として、社費、寄付金を

五城目電報電話局では、五城目町祭典期間中、便利な電話や、

森山地区住民体育祭

昭和五十八年度森山地区住民体育祭を、六月十二日(日)に実施いたします。細部にわたっては、後日連絡いたします。

公民館 森山分館

社会教育

あなたも
参加しませんか

- ・気分もさわやか大きな声を出してストレス解消にもなる「ママさんコーラス」
- ・月2回練習 町民センター
- ・ゆつくりした気分为本をよみ読後感を話し合う「親子読書会」
- ・年4回 読後感の話し合い、よみ聞かせセミナーなど
- ・今年は性能のよい新しい焼きがまが入ります。自分にしかない宝物を一つ作ってみませんか。
- ・「陶芸教室」年6回広域体育館
- ・家に居ながらにして学べる、届ける社会教育「書道通信講座」
- ・月1回講師添削とスクーリング
- ・婦人の力で住みよい町づくりをしましょう「消費生活学校」
- ・月1回 学習活動、事後処理



・小さい時から正しい基本早く泳げるように
「ジュニア水泳教室」 年間



・小さい時からあらゆるスポーツの基本となる
「ジュニア体操教室」 年間

・全身運動である水泳でシェイプアップをはかりましょう
「ママさん水泳教室」

・5月12日～3月15日毎週木曜日
・家庭婦人の運動不足解消のため参加してみませんか
「ママさんスポーツ教室」

・5月11日～3月14日毎週水曜日



・高齢者のための体力づくりにと
うぞ「高齢者体力づくり教育」

広報縮刷版

予約しなかった人にもおゆずりします

広報の縮刷版を予約しなかった人にもおゆずりします。購入を希望する人は、役場文書広報課(電話52-2100)へ電話で申し込んでください。また、縮刷版を予約してまだ受け取っていない人は、文書広報課へ連絡してください。

- ・収 録 昭和34年1月～46年12月
- ・ページ数 554ページ
- ・大きさ B5版(たて25cm×よこ18cm)
- ・体裁 (表紙) 布クロス(ケース付)
- ・価格 3100円

5月25日～2月19日最終水曜日

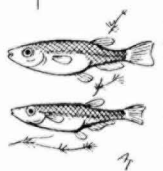


▼申し込み・問い合わせ先
五城目町公民館 (電話 52-4415)

※お子さんの教育で悩んでいることがありませんか。町では「家庭教育相談員」がみなさんの相談相手になります。よい知恵が生まれます。気軽に電話ください。

五城目町公民館(52-4415)相談日、毎週火曜日午前9時から午後4時まで

広報文芸



昭和57年度
町選抜文学作品（短歌）

▽入選

「病む母」

山平富子（新町）

母病めば目にふるるもの皆査し照りつくる八月の陽射しとどかず
生さぬ子を幾たり育て来し母の寝顔慈母観音の面と重なる
食細りし母には見せたくなきニュース隠すすべなく画面に流る
万年茸煎じてあればわが祈る心にかよいコトコトと鳴る
手術日程決まりて不安またよぎる八十四歳で母はガン病む

「盛夏の朝市」

阿部ミワ（上田町）

なにわ梅もみずもしゆんの終りごろ朝早く市場ひとめぐりする
あたらしい幸せを咲かすか花の苗百日草も松葉ぼたんも
館越久保の根葉葉葉とりどりに川原の広き畑思ひ浮かぶ
もぎたてのつやつやと光る赤きトマト生気にひかれてわれはあがなう
街角に鰻魚売るひとところごりどじょうに寄れば人ら寄くる

▽佳作

「朝市」

佐藤流水（矢場崎）

うららかに薺かたくり青菜出て賑やかなりし町の朝市

農協の朝市に来て選り買い安き西瓜の手提げに重し
漬け梅も終いになりし朝市に紫蘇売る人の一際目立ちぬ
多少値は高くつきたる露路植えの走りのトマトを朝市に買う
朝市の客に値引きし売る婆の盛りの茄子を量りよくして

「吾子」

沢田石 和子（湯ノ又）

初めてのボーナス袋開けし娘は何度も何度もお金数える
夏山の大雪山から帰りし息子残金五十円我に返しぬ
ドイツ語を徹夜で勉強したと云う朝の電話の息子の声ひびく
無口なる子亡き父の声張りて応援団長見事に指揮す
子供等の仕草それぞれ亡夫（つま）に似て病は似ぬ様密に祈る

▽短歌部門作品評

選者 一関吉美

「病む母」

病む母を思う細やかな心情が誠実に鋭く表現されている。五首の歌が一首ずつ独立性を持ちながら、それぞれ角度を変えてバラエティを持たせた構成は、まことに緊密である。特に第一首は立体的で重厚な作品だと思ふ。

「盛夏の朝市」

生き生きとはずむような明るさが魅力である。名詞を二つ並べる表現が多いのがちよつと気になるが、朝市の歌だから品物の豊かさを示したものであろう。特に第三首は具體的な把握がすばらしく、まことに新鮮な作品である。

「朝市」

「盛夏の朝市」に比べて地味だが、それだけに生活の実感がただよって、共感することができるといえる。たとえば次の歌など「朝市の客に値引きし売る婆の盛りの茄子を量りよくして」余韻があつて楽しい。第一首の四句目に過去の助動詞を使ったのは惜しい。回想の歌なのであるうか。

「吾子」

父を失った子らを思う母の歌。率直で素朴なところがいい。子らも素直で生き生きとしているのもうれしい。第四首は次のように改めたいと思う。いいところをとらえている。「無口なる子亡き父に似る声張りて応援団を見事に指揮す」

スポーツコーナー



男子準決勝・五一中対能代二中戦

五城目町へようこそ

・4月1日～3日
秋田和洋高校水泳部（10人）
水泳練習：温水プール
宿泊：町民センター
能代スイミングクラブ（15人）
水泳練習：温水プール
・4月3日
土崎中学校（20人）
水泳練習：温水プール

・4月8日
昭和農業改良普及所職員（4人）
視察：役場庁舎
・4月10日
能代スイミングクラブ（10人）
水泳練習：温水プール
・4月13日
秋田営林局（3人）
視察：役場庁舎
琴丘町農協（26人）
役員会：赤倉山荘
・4月14日
阿仁町長、議長
視察：役場庁舎

・4月17日
土崎中学校（20人）
水泳練習：温水プール
・4月23日
秋田県行政書士会湖東支部
総会：町民センター
・4月23・24日
全県中学校招待バレーボール大会
会場：広域体育館
・4月24日
能代スイミングクラブ（11人）
水泳練習：温水プール

全県中学校

招待バレーボール大会

4月23日～24日 広域体育館

▽男子準々決勝

鷹巣中 2-0 男鹿東中
土崎中 不戦勝 二ツ井中
五一中 2-0 船川中
能代二中 2-0 八竜中

▽女子二回戦

大潟中 2-0 常盤中
琴丘中 2-0 船川中
太平中 2-0 上小阿仁中
象潟中 2-1 富津内中
五一中 2-0 雄和中
外旭川中 2-0 杉沢中
戸賀中 2-0 土崎中
鴻西中 2-0 鷹巣中

▽同決勝

鷹巣中 2-0 五一中

▽同準々決勝

大潟中 2-0 琴丘中
象潟中 2-0 太平中
五一中 2-0 外旭川中
鴻西中 2-0 戸賀中

▽同準決勝

大潟中 2-1 象潟中
鴻西中 2-0 五一中

▽同決勝

大潟中 2-1 鴻西中

